

2021 年度 健康経営に関する指標の状況について

1. 健康投資施策の取組状況に関する指標関係

- ①定期健康診断の受診率については、育児休業中等により、定期健康診断を受診することができない従業員を除き、100%であった。
- ②ストレスチェックの受検率は、96.9%であった。
- ③平均月間所定外労働時間は、23 時間であった。
- ④年間 16 日以上有給休暇を付与されている者について、年間 8 日以上を取得を目標として運営し、対象者全員が 8 日以上 of 休暇を取得した。

2. 従業員の意識変容・行動変容に関する指標

- ①健康診断時の受診票への回答内容を集計した結果、喫煙者率は 2018 年度より 4 %低下し 5.3%となった。
- ②健康診断時の受診票への回答内容を集計した結果、運動習慣者比率は 2018 年度より 3 %強低下し 17.3%であった。
- ③ヘルスリテラシーの向上をテーマとして、ウェルネス研修を年 5 回実施し、育児休業中等の者を除き、全従業員がこれを受講した。

3. 健康関連の目標指標

- ①健康診断の結果、BMI が 18.5 以上 25 未満である適正体重者の割合は、60.1%であった。
- ②ストレスチェックと合わせ実施しているワークエンゲイジメントに関する調査では、「自分の仕事に誇りを感じる」という問いに対する回答の平均が、4 点中 3.3 点（高いほどよい）であった。